

身体症状症 (Somatic Symptom Disorder) について

(DSM-5の診断基準)	(典型的臨床像の特徴)
A. 1つまたはそれ以上の、苦痛を伴う、または日常生活に意味のある混乱を引き起こす身体症状	① 身体症状を繰り返し訴えて、症状を取り除くことを要求する。
B. 身体症状、またはそれに伴う健康への懸念に関連した過度な思考、感情、または行動で、以下のうち少なくとも1つによって顕在化する	② 症状を説明できるような医学的所見(診察、検査)に乏しく、その結果を説明しても患者はなかなか納得しない。
1) 自分の症状の深刻さについての不釣り合いかつ持続する思考 2) 健康または症状についての持続する強い不安 3) これらの症状または健康への懸念に費やされる過度の時間と労力	③ 身体症状にとらわれていて、日常生活や社会生活に支障をきたしている。
C. 身体症状はどれ一つとして持続的に存在していないかもしれないが、症状のある状態は持続している(典型的には6か月以上)	④ 心理社会的問題を認めたがらないことが多い。 ⑤ 経過は慢性かつ変動的。